「ゆめ・仕事ぴったり体験」

多古町役場 総務課広報係の仕事

久賀小学校の６年生たちが自分の興味のある職業を見学したり、実際に仕事の一部を体験する「ゆめ・仕事ぴったり体験」を行いました。役場の仕事に関心をもった鯖江凪（さばえなぎ）さんが、７月26日に広報係の仕事を体験しました。実際に一眼レフカメラをもって取材に行き、取材の感想を記事にしました。

広報たこ 体験

広報係を体験して

鯖江凪

今回職場体験でカメラを持って祇園祭の写真を撮りました。まわりの人たちの熱気や一生懸命さを写真に表わそうと思い頑張りました。でもカメラはとても重く、なかなか思うような写真が撮れませんでした。

暑い中カメラを持って取材をし、記事にまとめ、町の人達に楽しんで読んでもらえるような広報を作るのは大変な仕事だと思います。その大変さを感じることができてとても良い体験になりました。

▲鯖江さんの撮った写真

◀一眼レフカメラで写真を撮る

▲撮った写真をパソコンに取り込み確認

会社などを退職された方

「年金証書」が届きましたら手続きをお忘れなく!!

会社などを退職した65歳未満の方とその家族（被扶養者）は、国民健康保険の『退職者医療制度』によって診療を受けることになります。この制度では医療費の一部が、退職するまで加入していた被用者保険（社会保険・共済組合等）からの交付金により賄われるため、手続きをしないでいると国民健康保険の負担すべき医療費が増大してしまい、国民健康保険税の増額につながります。

厚生年金や共済年金などの「年金証書」が届きましたら、住民課国保年金係で手続きをお願いします。

■退職者医療制度の対象者（次の要件をすべて満たす方）

【退職者本人】

①国民健康保険に加入している65歳未満の方

②厚生年金や共済年金などの受給資格がある方で、加入期間が20年以上、または40歳以降の加入期間が10年以上の方

【退職者の家族（被扶養者）】

①退職者本人と同じ世帯の方で、国民健康保険に加入している65歳未満の方

②主として退職者本人の収入によって生計を維持している配偶者および３親等内の親族

③年間の収入が130万円未満の方
（60歳以上および障害者の場合は180万円未満の方）

■手続きの際に必要となるもの

●年金証書、印鑑、多古町国民健康保険被保険者証（保険証）

お問い合わせ・手続き●住民課国保年金係　☎76-5405

多古中央病院から

『台風シーズンに備えておくこと』

文／国保多古中央病院　内科　宇都宮隆法

今年は九州で水害が猛威を振るっていますが、水田地帯の多古町も栗山川周辺が水没することがあります。さらに台風の被害では、停電と断水の被害が発生することもあります。

私は洪水で三日間の停電を経験したことがありますが、残暑が厳しく冷蔵庫も使えないため、非常にストレスがたまりました。食事がワンパターンになり、二週間ほどは疲れが取れませんでした。

多古町のホームページでは避難所や給水場所も公開されていますし、防災無線の申請方法も記載されていますので、避難先をあらかじめ確認し準備しておきましょう。いざ避難勧告が出されても、避難場所がなじみのない場所だと腰が重くなり、結果として被災してしまいます。

また、子どもは台風が近づくと一般的に興奮しますが、大人は全く落ち着いている人が多いのは、自分は大丈夫と強固に思い込むようになっているためです。そのような心理状態では、避難の必要性を否認したり、避難するように指示されても自分を否定されたように受け取って指示した人に腹を立てるようになり、被災して命を落とすことになります。

被災しないために、震災のことも踏まえて避難について家族近所と話し合い、介護が必要な家族を誰が連れて行くかを決め、避難の時に持ち出す道具をまとめておけば、足取り軽く避難できるでしょう。

【病院便り】

多古中央病院の受付時間は、午前11時30分までとなっています。急患に限り時間外も受け付けていますが、設備と人員の関係上、適切な医療機関への紹介をさせていただく場合があります。

近隣の医療機関を受診されている方で当院を受診する際には、お薬手帳など投薬内容が確認できるものを持参してください。

Book

本の森

―私の一冊―『チームふたり』

この本は、目標を持ちそれに向かって一生懸命に取り組んでいる人に読んでもらいたい一冊です。

主人公の大地は、最後の市大会で仲良しの誠と、最強のダブルスを組みたいと思っていましたが、一つ年下で、おとなしい5年生の純とチームを組むことになり落ち込んでしまいます。そんな時、キャプテンの大地は女子卓球部の間で、もめ事が起こっていることを相談され頭を悩ませます。しかし家の中でも大問題が…。一家の大黒柱であるお父さんが会社をクビになってしまったのです。大地はもう卓球を続けるどころではなくなってしまいました。

もし自分が大地と同じ状況になったらただ落ち込んでしまうと思います。でも大地は自分の事より卓球部、家族の悩みに向き合い、一人ではできないことも支えあい、お互いを信頼しあうことで絆は強くなること、自分もみんなに支えられていたことに気づきます。そして最後の試合に純と本当の「チームふたり」となって挑むのでした。この本を読んで日常の中には家族や友達というたくさんの「チーム」があって、その「チーム」がいるから毎日楽しく勉強できているのだと思いました。

本を読むと主人公と同じ気持ちになって感動したり、笑えたりできるので好きです。この本は5部作のシリーズになっているので全部のシリーズを読んでみたいと思っています。

本植人：五木田悠暉（ごきたゆうき）さん（新町）

28冊目

『チームふたり』
作：吉野万理子
発行：学習研究社

〈あらすじ〉
6年生の大地は卓球部のキャプテン。最後の大会で最強のダブルスを組みたかったが相手は5年生の純。そして卓球部や家で次々に起こる問題。それを乗り越え大地が見つけた本当の「チーム」とは…。

今回紹介した本は、プラザ図書室に置いてあります。
リクエストにもお応えしますので、お気軽にご利用ください。
■コミュニティプラザ図書室
☎79-3406
開館時間：午前8時30分～午後5時
【9月の休館日】毎週月曜日・祝日